

1. 当機構について

基本情報

設立日	2009年4月1日	
資本金	147億円	
事業所	法人本部 神戸市立医療センター中央市民病院 神戸市立医療センター西市民病院 神戸市立西神戸医療センター 神戸市立神戸アイセンター病院	
営業収益	812億円(2021年度)	
正規職員数	3,229名(2022年12月現在)	

☆2009年に神戸市から独立し、地方独立行政法人として運営を開始しました。

勤務場所







①中央市民病院

- 神戸市全体の基幹病院
- 三次救急
- ・断らない救急



②西市民病院

• 神戸市街地西部の中核病院

- 二次救急
- 2028年度に新築移転予定



|④神戸アイセンター病院

・標準医療から最先端の高度 眼科医療提供

☆勤務地は、すべて神戸市内のため、転居を伴うような異動がありません。

沿革

2009年4月	地方独立行政法人として運営を開始。 神戸市立医療センター中央市民病院・西市民病院の2病院体制。
2017年4月	神戸市立西神戸医療センターが移管され、3病院体制。
2017年12月	神戸市立神戸アイセンター病院が開院し、4病院体制。

☆地方独立行政法人としては、設立から15年目とまだ新しい団体ですが、規模を拡大 し、成長を続けています。

市民の立場に立って、人間性豊かであたたかく、質の高い医療を安全に提供することに より、市民の生命と健康を守ること

市民の信頼に応えるため、より多くの市民に効率的に医療を提供することに努めること

市民の生命と健康を守ることが使命です。

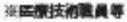


職員数

組織の概要

正規職員数 (2022年12月現在)

	中央市民病院	西市民病院	西神戸 医療センター	特戸 アイセンター製品	法人本部
医師·歯科医師	183	78	107	4	0
看護職員	1,151	384	535	27	1
医療技術職員等*	307	109	132	18	0
事務職員·技術職員	73	34	41	8	37
合計	1,714	605	815	57	38



薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床工学技士、管理栄養士、心理判定員、保育士、CRC、看護補助者



2.仕事内容について

総合職の役割と業務

医療職(専門職)と協同しながら、少数精鋭の事務総合職として、安定的な経営基盤を確立し、病院の管理・運営を行っていく役割を担っています。

医事

DX(情報)

地域連携

総務・人事

経理・経営企画 物品等調達

医療ソーシャルワーカー (MSW)

☆ジョブローテーションで、原則3~5年ごとに異動があります。

医事~患者さんが安心安全な医療を受けられるように



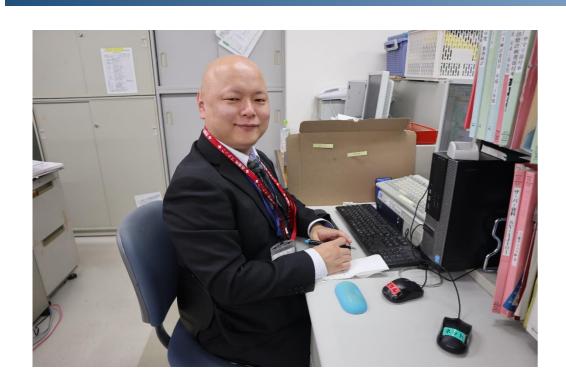
2014 入職 2014~中央市民病院総務課 2018~西市民病院医事課

仕事内容

医事と聞くと、会計業務をイメージしがちだと思いますが、そうではありません。病院の大きな収入源である診療報酬に関する業務、それに大きくかかわる施設基準の管理、未収金管理、医療安全、感染対策、患者対応など非常に多岐に渡っています。

診療報酬には定められた基準に基づいて医療機関が届出することにより請求できるものが多くあります。施設基準の管理業務として、届出した項目の基準を引き続き満たしているかの確認や、新たに基準を満たした項目の届出などをしています。 医療安全に関する業務については、患者さんが安心安全な医療を受けられるように、医療職の方々と一緒になって、日々のヒヤリハット事例から改善策の検討や研修会を企画・実施しています。

DX~システムを使う人たちの問題を解決するのが私たちの仕事です



2012 入職 2012~中央市民病院医事課 2013~中央市民病院情報企画課 2016~西市民病院医事課

仕事内容

私の業務を一言でいうと「病院内システム全般の対応」になります。システムは医師が診察内容を入力する、看護師が入院患者さんの状態を入力する、外来の受付が患者さんの予約を確認して受付する、会計がその日の内容を確認して会計入力する等、病院内で様々な人が、様々な用途で使用しています。

そんな中、システムが動かなくなる、現在できない操作をできるようにしたい等、システムに対し様々な問題・希望が発生します。それらを問い合わせとして受け、その場で対応、あるいはシステムを作ったメーカー等に連絡して相談するなど、システムを使う人たちの問題を解決するのが我々の使命です。

地域連携〜地域医療機関と円滑に連携できるように



2001 入職

2001~西神戸医療センター総務課

2013~西神戸医療センター医事課

2015~西神戸医療センター医事課 担当係長

2018〜西神戸医療センター地域医療課 地域連携係長

仕事内容

私は西神戸医療センター地域医療課の地域連携係に所属し、当院と地域医療機関との医療連携が円滑にまわるよう、様々な事業の企画・運営や、前方連携業務(地域医療機関からの紹介予約業務等)がスムーズにいくように管理・調整を担当しています。

入職までに向けての過ごし方

学生の間にしかできないことがあるので、学生生活を思いっきり楽しんでください。医療分野に限らず世の中の動きにアンテナを張って、少しでも興味を持った分野があればそれを掘り下げてみてください。学生時代に培ったことは、社会人になっても思わぬところで役に立ったりします。

総務~職員の働きやすい環境づくりを目指します



2020 入職 2020~西神戸医療センター総務課

仕事内容

職員が円滑に業務に取り組めるよう、給与・人事・服務・経理・物品調達・広報など様々な業務を行う部署です。毎年、担当業務が変わりますが、今年度は広報・勤怠管理に携わり、院外広報誌やホームページの作成、超勤・休暇申請の管理などを行っています。

入職して良かったこと

福利厚生が充実している点です。休暇制度が充実しており、有休を分割して使うこともできます。 休暇でリフレッシュすることで、業務に集中して取り組むことができます。

MSW~患者さん一人ひとりに合わせた退院支援を心がけています



仕事内容

MSW(医療ソーシャルワーカー)として主に入院 患者様の退院支援業務を行っています。急性期病 院の役割を果たすため、病状が落ち着いた患者様 の円滑な転院や退院に向けて、地域医療機関等と の連携・調整業務を行っています。また、入院患 者様の医療費に関する公的支援、福祉制度(身体 障害者手帳、難病医療費助成制度)などの相談に も応じています。

2020 入職 2020~中央市民病院地域医療推進課 入職に向けて勉強したこと

MSWとして十分に力を発揮して勤務するため、 社会福祉士の国家資格取得を目指して学生生活を 過ごしました。また、神戸市民病院機構が担う役 割、医療保険制度や福祉制度などを把握するよう にしていました。

3.求める人物像

求める人材

▶病院で働く多くの職員と円滑にコミュニケーションを持てる人



▶日々変化する医療現場の中で、課題を発見し、自らが中心となり

改善、企画できる人 🖤



▶病院運営に携わり、経営を実務面からサポートできる人 **ス**



☆進化し続ける「地方独立行政法人 神戸市民病院機構」のこれからの歴史を、 ともに創っていきましょう!

4.キャリアプラン

キャリアプラン



☆職員が意欲的に働けるよう、能力や貢献度が適正に評価される昇任制度を導入。

5.勤務条件等

待遇

初任給	月額204,064円 ※社会人経験等がある場合は別途加算あり。	
各種手当	期末勤勉手当(賞与:4.4月分)、扶養手当、住宅手当、通勤手 当、時間外勤務手当、退職手当など	
昇給	年1回	

☆人事評価など、頑張っている職員が真に報われるような給与制度を整えています。

福利厚生

社会保険

神戸市職員共済組合に加入

休日・休暇

完全週休2日制 年間休日数123日(2023年度) 年次休暇20日 リフレッシュ休暇5日 誕生日休暇 特別休暇(忌服休暇・結婚休暇など)

子育て支援

育児休業(最大3年) 育児短時間勤務制度 妊婦の通勤緩和制度 出産補助休暇等

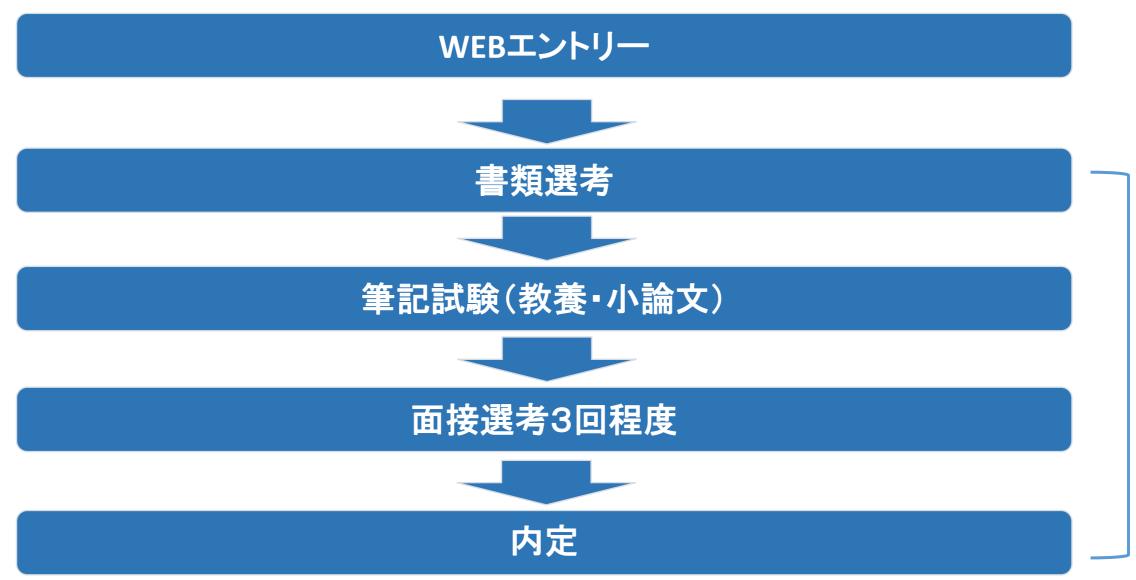
その他

借上げ寮制度(遠方者のみ) 資格取得支援制度あり

☆安心して長く働き続けられる制度を 整えています。

6.採用選考について

選考の流れ



☆募集人数は、10名程度です。詳細は募集要項をご確認ください。

選考期間:2 か月程度

終わりに

皆さまからのご応募をお待ちしてお

ります。

